

## 大菩薩嶺（3班班山行）

山行日：2019年 8月17日（土）

コースタイム：5:50 松戸駅緑の窓口集合 松戸 5:55＝新宿 6:41/6:49＝高尾 7:57/8:02＝  
甲斐大和 9:04/9:10＝上日川峠 10:01/10:25－福ちゃん荘 10:50/10:55－  
大菩薩峠介山荘 11:40/12:00－大菩薩嶺 13:00/13:15－上日川峠 14:20/15:00  
＝甲斐大和駅 15:50/16:22＝松戸 19:10

交通費：4,240円(JR 2,420円、バス 2,000円)

残暑真っ盛りのせいか3班の班山行にもかかわらず、3班、1班各3名計6名の山行となった。甲府行各駅停車の列車から甲斐大和駅で大多数の登山客が降り、大菩薩の人気のうかがいしれた。

標高1600mの上日川峠までバスで登る。峠は流石に涼しく都会の暑さとは雲泥の差！これだけでも遠路来たかいがあった。

木漏れ日が差す樹林帯の中に行く、福ちゃん荘で一休み、途中一面苔に覆われた北八ヶ岳を彷彿させる場所や、峠の手前では日本鹿を見かけた。かなり近かったが逃げる様子見なく5、6頭が悠然と草を食べていた。

山の生態系を乱している動物だが彼らも生きるため共存を図らねばと思いながら、峠を目指す。暫時、峠に到着介山荘裏の木陰で昼食休憩。

峠から賽ノ河原までは眺めの良い稜線歩き、下方に大菩薩湖、塩山の街がよく見える、富士山は雲に隠れて見えない、日差しは強いが風がとおりに心地よい。稜線では松虫草が見られるとの事であったが見当たらない、小さなオレンジ色の花が群生していた。雷岩を經由大菩薩嶺に到着、樹林の中で展望無し。Mさんは4座目の百名山登頂である。

帰路は唐松尾根を下りる。かなりの急傾斜であり滑りやすい何度か転倒しそうになる。計画書の1.1はどうしたのかと思う程、Lはかなりの早足、0.9ペースか？

予定より大幅に早く上日川峠に戻る。バスを待つ間早速ビールで乾杯美味しかった。尾瀬L、吉田SL有難うございました。

余談：①この山行記を書いているとき、上日川峠の標高を山と高原地図（2016年版）

調べたら、1,840mと記載されていた。変だなと思い他の資料で確認したら1,600mであった。



このような誤りもあるから注意ですね！

②甲斐大和駅での出来事、バスが到着したのが15時50分頃、駅の時刻表では16時04分の列車がある。急いだが定刻を過ぎて来ず、皆でオカシイと言っていたが、今になって考えてみたら、あれは下り線の時刻表を見たのではと気が付いた。お粗末でした。

以上